令和3年度 与次郎池（1011032） 浸水想定マップ

【ため池浸水想定マップ】

ため池は農業用水の供給等の多面的機能を持っています。一方で地震や豪雨の発生により、決壊すると大きな災害につながる危険性も併せ持っています。

そこで、ため池決壊被害の軽減、防災意識の向上を目的として「ため池浸水想定マップ」を一定規模のため池毎に作成しました。

日頃からため池災害に備え、避難ルートを確認するなど迅速な避難や災害対応の基礎資料※として活用していただければと考えています。

※ため池浸水想定マップは、雨量及び震度に関係なく堤体が破堤し、貯水量の全量が流出することを前提とした解析結果であり、流出後60分間の中で最大水深を表示したものです。
破堤箇所、詳細地形、気象状況等により、更に広がる可能性もあります。

与次郎池

御津中山

ため池諸元	
番　号	331011032
旧番号	33100A032
名　称	与次郎池
堤　高	3.6 m
貯水量	0.6 千m3

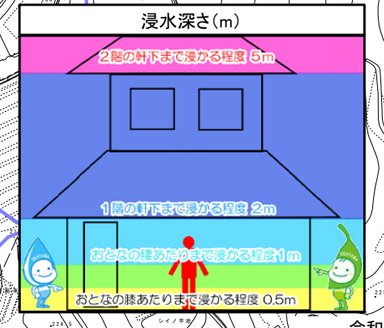
0　50　100　200m

特に注意すべき ため池状況のポイント

【大雨時】
○急激な水位上昇により、流水が堤体を超えようとする場合
○漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
○堤体が陥没し、漏水が生じた場合

【地震時】
○堤体に陥没やひび割れが発生し、漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合

浸水深さ(m)



凡例
- ため池
- 避難所

最大水深
- 5.0m以上
- 2.0m～5.0m
- 1.0m～2.0m
- 0.5m～1.0m
- 0.5m未満

令和元年度作成地図 を使用